

第2学年 生活科（人権）学習指導案

- 1 主 題 「いのち」ってすばらしい 生命の尊さ D-17
 2 資 料 名 生活科「あしたへジャンプ～こんなに大きくなったよ」
 3 本時の目標 「赤ちゃん先生プロジェクト」の学習を通して、自分のいのちは家族や周りの人々の世話や愛情によって大切に育てられてきたことに気づき、自分のいのちを大切にしようとする意欲を高める。
 4 人権教育の内容 2-（1）-ア
 6 展 開

児童の活動	指導上の留意点・支援（◎評価）	備考
1 前時までの学習をふりかえる。	○「赤ちゃん先生プロジェクト」での活動の様子の写真や赤ちゃんとふれあった児童の感想をいくつか紹介することで、前の学習が振り返られるようにする。	（一斉） 児童の感想文
いけんこうりゅうをとおして いのちの大切さに気づこう		
2 「赤ちゃん先生プロジェクト」で感じたことを話し合う。 ・赤ちゃんは小さいな ・心ぞうの音をきいたよ ・お母さんもなやんでいるんだ ・いのちの力ってすごいな ・ずいぶんせい長したな	○体験時の写真や動画、エコーなどを提示して、児童が具体的にイメージしやすいようにする。 ○実際にだっこした時の重さや手や身長を比べた時の感想を発表させることで、生命の重みを実感的に捉えさせたい。 ○過去3回の赤ちゃん先生の成長を比べさせることで、生命が育まれていることに気づかせる。 ○ママ講師の出産時の話を振り返ることで、赤ちゃんの生きることの強い意志を捉えさせ、生まれ出た命はかけがえないものであることに気づかせる。	（一斉） ふり返りシート 話辭の驛・鱗 エコー驛
3 ゲストティーチャーの話を聞く。 （1）児童のしつもん （2）赤ちゃん先生プロジェクトへの思い ・命のすばらしさ・重さ （3）みんなに伝えたいこと ・みんな、愛情をこめて育てられている	○事前に児童に聞きたいことをアンケートでとっておき、ゲストティーチャーに伝えておく。 ○質問タイムを設けることで、ゲストティーチャーと児童が積極的に意見交流できるようにする。 ○ゲストティーチャーのお話ごとに児童に感想や問いかけをすることで、児童の思考を深めさせたい。 ○ゲストティーチャーの話の中から、自分の生命は、家族や周りの人々の深い愛情によって守られていることに気づかせたい。 ◎自分の生命を大切にしようとする意欲をもつことができたか。 ◎自分の生命は、家族や周りの人々の愛情によって大切に育てられてきたことに気づくことができたか。	（一斉） ゲストティーチャー
4 本時の感想を発表する。	○ワークシートに本時の感想を書き、発表することで、守り育てられている命を大切にしていこうとする意欲をもたせる。	（個別） ワークシート